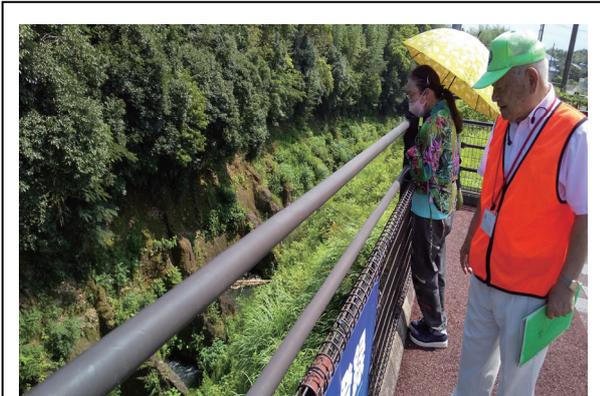


## 事業報告書

1 支援団体名	NPO法人日本ゆたかなまちづくり研究会
2 事業名称	熊本の「井手」を体験する学習会
3 実施日時	8月20日(日) 09:30～11:30。11月12日(日) 09:30～11:30。
4 実施場所	8/20、於;「鼻ぐり井手」(菊陽町)。11/12、於;「渡鹿用水(渡鹿堰)」(渡鹿)。
5 事業目的、内容及びその効果	(事業実施状況・内容) 本学習会では、肥後国主であった加藤清正(1562年～1611年)の時代に作られ、現在でも変わらず、「治水」としての役割を担っている熊本の「井手」を見学した。ひとつは、大規模な「鼻ぐり井手」(菊陽町)、もうひとつは、「渡鹿用水(渡鹿堰)」(渡鹿)の二か所である。前者は8月に開催したため、異例の猛暑中、子どもたちの参加は難しく、代わりに社会人が5名参加した。後者は暑さもかなりおさまったこともあり、子ども3名、社会人6名の参加となった。両者とも、「井手」の案内人により、井手の持つ歴史的な役割、現在でも現役として使われている話など、興味深い説明があった。
	(事業実施効果) 井手の案内人の詳しい説明により、「熊本市を流れる『井手』の保存は、環境の保全につながる」と、参加者全員の「こころ」に浸透したと思われる。つまり、郷土の偉人が遺した「治水」文化財への理解を深めることができた。そのことは、「井手」の理解を深めることにより、これからの熊本の河川の治水対策の在り方にも、様々な点で重要な「ヒント」が生まれる効果が期待できよう。
6 参加内訳	総人数 延べ 23 名
	(1) 主催者参加 延べ 3 名
	(2) 日本人参加 ( (1) を除く) 延べ 20 名
	(3) 外国人参加 ( (1) を除く) 0 名
7 今後の方針	① 文化財としての「井手」の保存、虫などの生き物の普及や保護など、熊本市の「宝」としての「井手」を守り続けたい。 ② 若い世代に、熊本市の「水資源」の豊かさを伝えていきたい。 ③ 環境に配慮した政策を推し進めていく熊本市を作っていきたい。

「鼻ぐり井手」(菊陽町)の見学



2023/8/20 開催 @鼻ぐり井手公園  
(熊本県菊池郡菊陽町曲手 436-1)

「渡鹿用水(渡鹿堰)」(渡鹿)の説明



2023/11/12 開催 @渡鹿菅原神社  
(熊本県熊本市中央区渡鹿6丁目11-89)

「鼻ぐり井手」(菊陽町)の様子



2023/8/20 開催 @鼻ぐり井手公園  
(熊本県菊池郡菊陽町曲手 436-1)

「渡鹿用水(渡鹿堰)」(渡鹿)の様子



2023/11/12 開催 @渡鹿菅原神社  
(熊本県熊本市中央区渡鹿6丁目11-89)

「鼻ぐり井手」(菊陽町)のパンフレット



2023/8/20 開催 @鼻ぐり井手公園  
(熊本県菊池郡菊陽町曲手 436-1)

「渡鹿用水(渡鹿堰)」(渡鹿)を見学



2023/11/12 開催 @渡鹿菅原神社  
(熊本県熊本市中央区渡鹿6丁目11-89)